



# Sekison 通信

教育目標◆◆未来をひろく 石川の子◆◆

R5・6・28

NO, 7

文責: 校長酒井



## ◆◆道草（徒歩による登下校）のすすめ！◆◆

あれ？今日はいつもと違うねどうしたの？

あのね、お兄ちゃんが自転車の朝練なの、私だけ途中で降ろしてもらって歩いてきた。

校門坂の下で立哨指導をしていると、いつもは車で送られてきてあいさつをする3年生が、満面の笑顔でそう答えました。聞けば、途中のコンビニで車から降ろしてもらったとのこと。

歩くのが好きなの、だからお母さんをお願いしたの。

家族間での会話を想像すると、ついついこちらまで笑顔になります。



様々なことが新しいルールのもとスタートした新石川小学校も、今年で創設9年目。地域の小学校が遠くなり、それまで徒歩が当たり前だった登校もスクールバスに、そして、いつの間にか車による送迎が多くなりました。

着任後、ひそかな楽しみの一つに徒歩通勤があります。出張等がある場合はあきらめますが、出来るだけ徒歩や自転車での通勤を心掛けています。山々の緑、今出川の決まった場所に陣取るカモの家族。毎朝ガソリンスタンド前で、子どもたちを見守ってくださる安全協会の会長さんにあいさつをし、5年生の田んぼの稲の生長具合を確認して…、片道およそ1キロの通勤もたっぷり20分かければ、様々なものが飛び込んできます。

小さい頃の「道草」は日常茶飯。朝は集団登校なので、友達に遅れまいと走って学校に行くこともあり、気の置けない仲間との下校は時々けんかにもなりました。しかし、先生に咎められたことはなく、自分たちで解決する術を知っていたように思います。

時代も場所も違うので、今は、建物や道路も整備され交通量は比べようもなく、交通事故や声掛け事犯への注意も必要ですが、「道草」は子どもの専売特許、子どもの権利かも知れません。

徒歩による登下校を「歩育」と言い換えることができ、その効果は次の7つと考えます。

1. 脚力、運動能力が高くなり、食欲もわきます。
2. 軽い運動で脳が活性化され、学力が向上します。
3. 危険個所を知ることで、危機回避能力が身に付きます。
4. 続けることで生活習慣が整い、忍耐力、集中力、持久力がつきます。
5. イライラ感が少なくなり、落ち着いた学校生活が送れます。
6. 友達や地域の人との接点が多くなり、あいさつやコミュニケーション力が身に付きます。
7. 五感が研ぎ澄まされ、感性が豊かになります。

「石小っ子」の登下校は「徒歩」と「バス」が原則です。諸事情もあり車での送迎も容認していますが、徒歩がもたらす効果は上記の通り計り知れませんし、学校前の朝の混雑も気になります。

夏休みまであと一カ月、1～2キロ程度の徒歩による登下校を本校では奨励します。危険個所の確認も合わせて、ご家庭で話題としてほしいと思います。

また、専門機関（警察・安全協会・区長・民生委員等）との連携を密にし、安全面での協力を引き続きお願いするつもりです。

※ 原則として、学校敷地内への車の乗り入れは大変危険なため禁止としています。特別の場合のみとなりますので、ご注意ください。裏面もご覧ください。

## 5・6学年集会 校長の話（言葉について）

令和5年6月21日

おはようございます。

6月ももう半分が過ぎました。明日から6年生はブリティッシュヒルズでの宿泊、そして、約一月後には5年生も6年生も夏休みです。

さて、新しい学年が始まっての二月（ふたつき）はどうでしたか。運動会、宿泊学習という大きな行事、児童会ではフレンド活動もありました。委員会活動や縦割りの清掃など、高学年というだけで、やることがとても多く大変な2か月だったのではないかと思います。でも、皆さんが頑張ったおかげで、今年はね、春から学校を休む子ども少ないし、皆さんが、きちんとあいさつしているの、それを真似して下学年の子たちも元気にあいさつしています。

陸上や合唱、合奏に自転車部の特設も皆さんが中心になって引っ張っているの、とても充実していますね。自転車や陸上部は見事に県大会のキップを手にししました。5・6年生のお陰です。改めましてお礼を言います。ありがとう。

ただ、残念なことが一つだけあります。それはね「**ことばづかい**」です。ちょっと、この文字を見てください。（「言葉」を移動黒板に掲示）

読み方を知っている人いますか？これはね「**ことだま**」と読みます。意味はね、「**言葉には、魂がこもっている。**」というものです。これは昔からの言い伝えですが、校長先生もその通りだと思います。ですから、昔から私たちは「**時と場**」を選んでお話をしてきました。例えば結婚式では、「別れる」とか「切れる」とう言葉は使ってははいけません。いやな言葉を使うと「縁起でもない」と言われるのもそうです。言葉は不思議ですね、「がんばれ・すごい」といわれると、力がわくし、「ありがとう」や「おめでとう」と言われると、うれしい気持ちになったりします。調子が悪い時保健室で順子先生に「痛かったね」「大丈夫だよ」と優しく声をかけていただくとても安心しますね。これはやはり言葉の不思議な力ですね。皆さんもこのような経験はきつしているはずですよ。

しかし、最近校長先生が耳にした言葉は残念ですがそれではありません。それは、「**バカ**」「**キモイ**」「**ウザイ**」「**オワッタ**」などです。そして、この前はこんな信じられない言葉が聞こえてきました。それは「**〇〇死ね**」という言葉です。

今、嫌な気持ち、暗い気持ちになったお友達が多いと思います。時々廊下を歩く校長先生が耳にするのですから、ひょっとすると普通にクラスや学年で使われているのかもしれませんが、**ぞっとするし、とても悲しくなります。**

言葉は、様々な人に木霊（こだま）となって飛んでいきます。発した言葉は一人歩きしてたくさんの人に伝わります。聞きたくないと思って耳をふさいでももう遅いのですよ。発した人が「しまった」と思っても取り返しのつかないこともあります。回収することはできません。もし、クラスで嫌な言葉が広がっていたら、その悪い言葉をみんなで追い出す必要があります、皆さんの心を伝える「**正しい言葉**」で、です。

言葉の乱れは、残念ですが全校生に広がりつつあります。しかし、ここまでのいろんな場面で頑張ってきた**高学年の皆さんが模範を示すことで、必ず下学年の子ども達にも広がっていきます。**

夏休み前まで、あと、1か月の学校生活ですが正しい言葉で生活していきましょう。そして、優しい気持ち、安心した気持ちで、楽しい夏休みを期待しています。

この後、生徒指導の佐藤出先生からもお話があります。よく心に留めてくださいね。

「言葉」は文化です。しかし、テレビやYouTubeでは面白おかしく使われている現状もあります。学校は学びの場ですのできちんと指導する必要があります。それは、言葉の乱れが時としていじめに繋がるからです。互いに敬称（さん・くん）を付ける呼び方も奨励しています。